

2016～2021年度の間に次の方々から寄附を頂戴いたしました。  
ここに報告し、お礼にかえさせていただきます。たくさんのご支援、ありがとうございました。

### 寄附者

池上 甲一	多田 勉	横山 篤夫
井田	中山 裕二	宮本 由貴
伊藤 三男	早川 光俊	斎藤 恒
大西 愛	福西 毅	小田 康徳
片岡 直樹	松岡 弘之	小林 光
北村 由枝	宮本憲一先生OB背広ゼミ	神長 唯
古賀 崇	村上 義和	桃山学院史料室 有志
酒井 健一	山本 一一	萩野 直路
ジョバン・ポール	湯本 浩之	募金箱分
		他匿名 2名



# エコミューズ活動報告書

2016年4.1～  
2022年3.31

過去と未来がひびきあう  
—ようこそ、エコミューズへ。  
www.aozora.or.jp/shiryou/

あおぞら財団付属  
西淀川・公害と環境資料館  
エコミューズ

第7号

### 寄附のお願い

エコミューズでは活動資金を集めるために「Hamon(ハモン)基金」を設置しています。  
集まった基金は、企画展の開催、資料の収集と整理、資料の保存や閲覧環境の整備のために  
使わせていただきます。何卒、ご協力をよろしくお願いいたします。

#### ■寄付の方法

<郵便局>口座記号番号 00960-9-124893 加入者名 あおぞら財団  
<ゆうちょ銀行>金融コード:9900/店番:099/預金種目:当座  
店名:0九九店/番号:0124893/名義:あおぞら財団

#### <インターネットからの寄付>

オンライン寄付サイト、Give Oneからご寄付いただけます。https://giveone.net/【「あおぞら財団」で検索してください】  
クレジットカード、ジャパンネット銀行、ペイジーでの決済が可能です。



※通信欄にハモン基金への寄付と明記してください。寄付者のお名前は機関誌やホームページ等で公表させていただきます。  
ご都合の悪い方は通信欄にその旨お書きいただけますようお願い申し上げます。

2022年12月発行

あおぞら財団付属 西淀川・公害と環境資料館  
エコミューズ あおぞらビル 5F

☎06・6475・8885 [要予約]

FAX ☎06・6478・5885

E-mail ● webmaster@aozora.or.jp (あおぞら財団)

H P ● http://www.aozora.or.jp/ecomuse/

住所 ● 〒555-0013

大阪市西淀川区千舟1-1-1 あおぞらビル5F

開館 ● 月曜日、金曜日(祝日は休み) 10:00AM～5:00PM

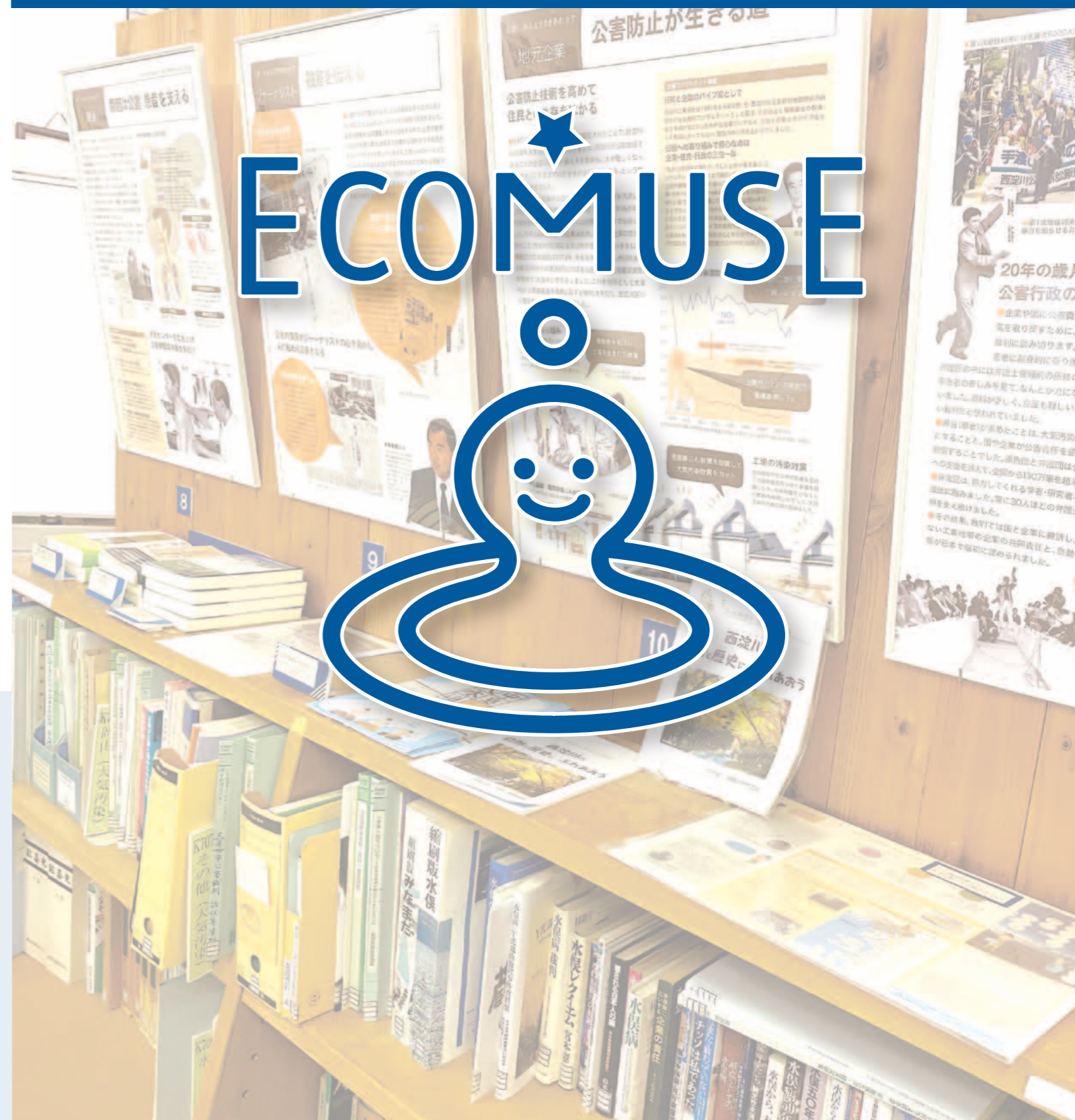
利用 ● 図書の貸し出し期限は2週間 書庫資料や裁判記録は閲覧のみ

※個人のプライバシーを含む、あるいは整理中の資料は公開できない場合がありますのでご了承ください。  
※資料複写可(一部を除く。料金は1枚10円)

MAP



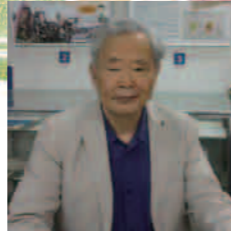
【最寄駅】JR東西線「御幣島(みてじま)」駅下車  
地下道11番出口すぐ



# ECOMUSE

# ごあいさつ

エコミュージズ館長 小田康徳



エコミュージズ活動報告書第7号を作成いたしました。2016年度から2021年度まで5年度分の合本という形です。この間エコミュージズの活動が停滞していたわけではありません。むしろ、各年度の来館者数を見ても、コロナ禍に悩まされた2020年度こそは急減していますが、2021年度には早くも回復の方向に向かっています。

また公害資料館フォーラムは2016年度には水俣市で、17年度には大阪西淀川、18年度には東京、19年度には倉敷、20年度にはコロナで開催を見合わせましたが、それが21年度には長崎でそれぞれ成功裏に開催され、最後の長崎を除けば、いずれも事務局としての重責を果たしてきました。むしろ、このように全力で走ってきたために、報告書が出せなかったと言えるのかもしれない。

しかし、報告書の発行は館の事業の根幹を関係者が認識する上で大きな意義を持つものです。その意味では、5年間それができなかったことは深刻な反省材料です。館では、このことを心に刻んで、今後の活動を進めていくつもりです。

現在、館では西淀川公害についての最も基礎的な資料集を発行するため、その編集作業を鋭意進めています。その調査のため館が保管する多くの資料を、それを入れた箱の蓋を外しながら、一点一点取り出し検討を進めています。いろいろな発見が続いています。また、資料の展示会も企画し、住民の方々に見てもらう準備も進めています。いまは、基本的な活動を重視し、館としての足腰を鍛えているところです。本報告書をぜひお読みいただき、ご助言をいただきますようお願いいたします。



## 各年度の来館者数

単位：人

	単年度	累計
2016年度	381	4,000
2017年度	448	4,448
2018年度	483	4,931
2019年度	359	5,290
2020年度	138	5,428
2021年度	344	5,772

## 年表 2016年4月1日~2022年3月31日

年	日付	内容
2016年度	8月1日	「西淀川公害アイデンティティ研究会」の発足
	11月5日~7日	第30回清里ミーティングに分科会「いま『公害教育』を考える」をエントリー
	11月26日	E S D推進ネットワーク全国フォーラム2016で西淀川の事例を報告
	12月16日~18日	第4回公害資料館連携フォーラム in 水俣
2017年度	3月	教材『手渡したいのは青い空』住民が動いた街・西淀川の経験から学ぶ』を作成(地球環境基金助成事業)
	3月	(独)環境再生保全機構のwebサイト「記録で見る大気汚染と裁判」千葉川鉄公害裁判資料の整理を終了
	7月2日、8月7日	教材『手渡したいのは青い空』住民が動いた街・西淀川の経験から学ぶ』の体験会
	10月7日~9日	(公社)日本環境教育フォーラム(JEEF)主催「公害とSDGs~大阪・西淀川の経験から考える~」を開催
	10月	『SDGsと環境教育：地球資源制約の視座と持続可能な開発目標のための学び』(学文社)に「グローバルな文脈における公害教育の展開」を執筆
	11月23日~28日	ペラルーシ視察(チェルノブイリ後の教育および資料館を視察)
	12月15日~17日	第5回公害資料館連携フォーラム in 大阪
	1月20日	日本アーカイブズ学会2017年度第2回研究集会「新潟県立環境と人間のふれあい館(新潟水俣病資料館)の取り組みと課題」
	3月	西淀川フィールドワーク・プログラム「大阪の大気汚染から学ぶ」が完成
	3月	(独)環境再生保全機構のwebサイト「記録で見る大気汚染と裁判」千葉の裁判資料の整理および電子化を終了
2018年度	3月	公害に係る「オーラル・ヒストリー」(全国公害患者の会連合会)報告書作成(環境省受託事業)
	4月20日	尼崎市あまがさき環境オープンカレッジでロールプレイ教材が活用される
	8月30日~9月2日	新潟水俣病の公害スタディツアー(環境省平成30年度ユース世代による公害体験の聞き書き調査業務)
	11月9日	全国歴史資料保存機関連絡協議会(全史料協)沖縄大会にてエコミュージズの報告
	12月14日~16日	第6回公害資料館連携フォーラム in 東京
2019年度	3月	(独)環境再生保全機構のwebサイト「記録で見る大気汚染と裁判」千葉と東京の大気汚染公害裁判の資料整理
	3月	公害に係る「オーラル・ヒストリー」(西淀川公害訴訟の企業和解)報告書作成(環境省受託事業)

年	日付	内容
2019年度	4月~3月	(公財)淀川勤労者厚生協会の所蔵資料・図書等の整理及び活用：データ入力・目録の作成
	9月	(公財)日本博物館協会「博物館活動奨励賞」林美帆著「公害反対運動から生まれた公害資料館 西淀川・公害と環境資料館の取り組み」(『博物館研究』2018年12月号(Vol.53 No.12))の論文に対して
	12月13日~15日	第7回公害資料館連携フォーラム in 倉敷
2020年度	3月	公害に係る「オーラル・ヒストリー」(西淀川公害訴訟の道徳的報告書作成(環境省受託事業))
	4月	(独)環境再生保全機構のwebサイト「記録で見る大気汚染と裁判」個人情報保護法に基づき公開内容を再検討するという理由で、一旦、web上から全てのPDF資料の公開を停止(現在に続く)
	10月19日、26日	オンライン講座「石炭火力発電の何が問題なの?~大気汚染と気候変動から~」(NPO)気候ネットワーク・(NPO)地球環境市民会議(CASA)と共催
	12月1日~25日	公害資料館ネットワーク：ナガサキピースミュージアムにてパネル展「影、光るー全国公害資料館からのメッセージー」
	12月19日	公害資料館ネットワーク：クロストーク「ナガサキピースミュージアム×公害資料館」をハイブリット配信で開催
	1月	岩波書店の『環境と公害』50巻3号(2021年1月号)に特集として「公害資料館の現代的意義と課題」を発表
2021年度	3月	大阪府環境教育用教材「大阪の環境、温故知新」に資料提供
	3月	公害に係る「オーラル・ヒストリー」(大気汚染公害訴訟の時代の運動と環境政策の変遷)報告書作成(環境省受託事業)
	5月	公害資料館ネットワークの事務局を(公財)みずしま財団に移転
	9月21日、12月20日、2月28日	資料集編集委員会の実施
	12月11日~12日	第8回公害資料館連携フォーラム in 長崎

## ■研修、講師派遣 2016年4月1日~2022年3月31日

年度		件数	参加人数	主な内容
2016年度	講師派遣	27	2,414	(公財)淀川勤労者厚生協会、大阪大学、千里高校、西淀川高校など
	研修受け入れ	18	147	環境省、司法修習生、中国環境NGO、四日市公害と環境未来館など
	小学校での授業	10	744	御幸森小学校、出来島小学校、歌島中学校など
2017年度	講師派遣	40	1,894	(公財)淀川勤労者厚生協会、愛媛大学、土呂久エコモニタリング、西淀川高校など
	研修受け入れ	17	232	環境省、灘高校、司法修習生、大阪市立大、四日市公害と環境未来館など
2018年度	小学校での授業	9	445	大阪福島初級朝鮮学校、川北小学校、福小学校など
	講師派遣	32	3,535	(公財)淀川勤労者厚生協会、大阪大学、灘高校、土呂久エコモニタリングなど
2019年度	研修受け入れ	22	293	環境省、司法修習生、四日市公害と環境未来館など
	小学校での授業	5	294	佃西小学校、出来島小学校、川北小学校など
2020年度	講師派遣	19	921	(公財)淀川勤労者厚生協会、大阪大学、甲南中学校、大阪市新任教員研修など
	研修受け入れ	20	293	(NGO)ピースボート、環境省職員、司法修習生、マンマー環境NGOなど
2021年度	小学校での授業	0	0	—
	講師派遣	11	735	(公財)淀川勤労者厚生協会、神戸大学、静岡県環境大学、大阪産業大学など
2022年度	研修受け入れ	7	107	司法修習生、大阪市立大、大阪人権博物館(リパティおおさか)、京都教育大学など
	小学校での授業	0	0	—
2023年度	講師派遣	15	149	(公財)淀川勤労者厚生協会、大阪大学、千里高校、灘高校など
	研修受け入れ	4	94	司法修習生、大阪市立大、西淀川社会福祉協議会など
	小学校での授業	0	0	—

## 1 つながる・公害資料館ネットワークの取り組み

全国の公害資料館が連携し公害の経験を伝えていく公害資料館ネットワークが2013年12月に結成されました。同ネットワークでは、全国の公害地域の取り組みや公害資料館などに関わる方々の情報交流、テーマ別分科会や公害資料館連携フォーラム(年一回)を開催し、多くの方々のご協力を得ながら、「公害を伝える」取り組みを広げています。公害資料館連携フォーラムは2016年度(第4回)水俣、2017年度(第5回)大阪、2018年度(第6回)東京、2019年度(第7回)倉敷、2021年度(第8回)長崎、全国各地で開催されました。なお、同ネットワーク事務局は、結成から2021年5月までおおぞら財団に置かれ、その後、(公財)水島地域環境再生財団(みずしま財団)に移転されました。



▲ 第5回公害資料館連携フォーラム in 大阪(2017.12)

## 2 西淀川地域における新たな資料の収集・整理

2016～2019年度にかけて「西淀川アイデンティティ研究会」を開催し、西淀川公害反対運動に関わってきた人へのヒアリング、所蔵資料の再検討を重ねました(同会は、2019年7月～西淀川・地域再生研究会に移行)。

2017年度より、公害反対運動を担ってきた人、環境行政に携わってきた人、企業人として、関わってきた人など様々な立場の方々の経験や思いを記録し、今後の公害・環境対策を担う人に伝える取り組みとして公害に係るオーラル・ヒストリー作成業務を進めました。例えば、2018年度は西淀川公害訴訟の企業和解を取り上げ、利害の対立するステークホルダー間の対話の経緯を当事者から聞き取りました。

また、2017～2019年度には、(公財)淀川勤労者厚生協会からの依頼で、同法人が所有する資料の整理・データ化業務を行いました。入力データ数:3,227点。分類項目案(49項目、保留1、全50項目)を作成し、うち2,522点について分類を行いました。2020年度に入って、大阪人権博物館(リバティおおさか)から展示パネルや資料含めて250点の寄贈がありました。また、地元の画家の江波正寛氏から1960年代に描いた地元の風景の絵画3点の寄贈がありました。

## 3 他地域の資料整理の支援

これまでに資料館で培ってきた経験を活かして、各地の公害地域における資料の収集・整理・活用のサポートを進めてきました。

2014～2018年度にかけて、千葉川鉄公害訴訟と東京大気汚染公害訴訟の資料整理を行いました。同整理事業は、(独)環境再生保全機構のホームページ「記録で見る大気汚染と裁判」での公開を目的に、立教大学共生社会研究センターや東京公害患者と家族の会からの協力を得て実施しました。一方で、個人情報保護の観点から公開内容を再検討するため、同ホームページ上から全てのPDF資料が削除されるに至り(2020年4月～)、現在(2022年10月)も検討が続いています。

2017～2018年度には、公害資料館ネットワークのつながりで、宮崎県主催の土呂久エコモニターへの企画・運営協力などを行いました。



▲ 土呂久エコモニターの様子(2017.8.31)

## 4 日々の資料整理、そして、資料集の作成

資料館開館から16年が経ち、これまで多くの資料を寄贈いただきました。継続的に資料の保存と整理を進めており、2021年度末時点で61,214点の細目録ができています。さらに、2019年度より、当資料館所蔵の資料について多くの方に知ってもらうために、西淀川公害を学ぶための入口となるような「資料集」の作成を進めています。エコミューズ所蔵資料を改めて見直す勉強会を月1回開催。



▲ 患者さんが作っていた新聞スクラップ

小田康徳館長、佐賀朝氏(大阪公立大学教授)、松岡弘之氏(岡山大学講師)の参加を得て、「資料集編集委員会」を立ち上げて、編集方針などの検討を進めています。

## 資料の整理状況

種類	おもな内容	分量と整理状況
書庫資料 【閲覧のみ】	会議資料、メモ、手帳、チラシ、ビラ、新聞スクラップ、たすき、横断幕、機関紙、写真、ビデオ、8ミリ、スライド、冊子、刊行物、書籍、環境白書など、すべて個人や団体からの提供によるもの	ダンボール箱約 320 箱あり、 そのうち 310 箱まで目録作成済み 目録点数約 61,000 点
西淀川 大気汚染公害 裁判記録 【閲覧のみ】	準備書面、書証、弁論調書、証人調書、 検証調書など西淀川公害裁判の全訴訟記録	計 266 冊開架。目録あり
開架図書・資料 【貸出可】	大部分は図書類、その他、各地患者会の総会議案書やシンポジウム、集会の資料など、個人や団体からの寄贈図書、行政からの配布物、財団業務のための購入図書、収集資料など	約 7,800 点の図書等
ビデオライブラリー 【貸出可】	西淀川公害に関するオリジナル制作ビデオ、 報道録画映像、語り部映像、過去の西淀川の風景、 教材ビデオなど	VHS テープ約 140 本 DVD 約 310 枚 (重複あり)

## 2. 開架図書・資料 寄贈者

ヒューライツ大阪	高田 研	新井 健一郎(山田文)
矢達 侑子	二ノ宮リムさち	ZAY YAR TUN
平瀬 雅人	小田 康徳	長瀬 文雄
谷内 久美子	奥田 みのり	大阪府立西淀川高等学校
李 力	森脇 君雄	大西 愛
馬 倍戦	京都市自転車企画課長	菱山 隆二
井幡 巖	伊藤 廣之	岩田 好宏
八木 一夫	安藤 聡彦	大塚 健司
片岡 直樹	三谷 高史	香室 結美
大久 保規子	古里 貴士	門谷 充男
王 燦発	川尻 剛士	ハンセン病回復者支援センター (独)環境再生保全機構
アジア砒素ネットワーク	旗野 秀人	大阪人権博物館(リパティ大阪)
尼崎市立地域研究史料館	新潟日報事業社	藤井 賢
除本 理史	新潟水俣病阿賀野患者会	石井 秀樹
イタイイタイ病対策協議会	朝生 邦夫	藤原 遥
関 礼子	バード・デザインハウス	藤本 典昭
大栗 和美	藤岡 貞彦	山崎 義郷
吉永 利夫	沖原 隆宗	林 美帆
総合地球環境研究所	慶田 勝彦	丹野 春香
井上 善雄	福島 達夫	廣瀬 平四郎
外島保養院の歴史をのこす会	小野塚 春吉	日本環境会議
樋口 はるか	西 あい	
神長 唯	岩松 真紀	
水俣市立水俣病資料館	仙城 真	
四日市再生「公害市民塾」	関 耕平	

敬称略・順不同

## 1. 書庫資料

受入番号	受入年月日	寄贈者	内容	概要
174	2016/10/03	小田 康徳	封筒 1 点	西淀川の戦後すぐの変化の聞き取り資料
175	2017/09/11	西淀川公害患者と 家族の会	写真 90 枚ほど、 ネガ	第一次訴訟結審・1.31 結審総行動、原告らの写真など。『手渡したいのは青い空』など各種刊行物に使用された写真を含む
176	2018/06/14	津留崎 直美	段ボール 4 箱、 クリアケース 1 箱	西淀川公害裁判事務局長関係資料
177	2020/06/26	大阪人権博物館 (リパティおおさか)	250 点	公害関係図書、パネル、四日市資料
178	2020/08/26	江波 洋子	4 点	絵画 3 点、書籍『労働運動』1 点

## Hamon 基金(資料館基金)へのご寄附ありがとうございました

単位：円

	寄附金収入	使用経費	基金残高
2016 年度	29,542	0	368,558
2017 年度	22,167	0	390,725
2018 年度	119,271	3,726	506,270
2019 年度	93,492	0	599,762
2020 年度	11,400	0	611,162
2021 年度	12,000	175,272	447,890